

プラスチック
素材使用

スキーブーツの 「経年劣化」にご注意!!

スキーの前は安全のため、簡単にできる
「経年劣化」チェックをお忘れなく!

下記のチェック項目の中で、ひとつでも異常があった場合には使用しないでください。
(使用されているプラスチック素材により、異なる場合があります。)



「経年劣化」チェック①
スキーブーツ本体・部品の
表皮にヒビが生じて
いないかをチェック



「経年劣化」チェック②
本体・部品の表皮に白濁、
光沢に著しい衰退が
ないかをチェック



「経年劣化」チェック③
ご使用前に自宅で履いて
スキー動作を数回繰り返し
異常がないかをチェック

製造から5年程度で、強度が低下する場合があります。

スキーブーツには、機能性を考慮しプラスチックが本体や部品に多く使用されていますが、その強度は、年月とともに徐々に低下(経年劣化)し、破損に至ることがあります。

このめやすは、使用されている素材により異なりますが、製造から5年程度。ご使用には、充分ご注意ください。

私たちは、「安全で楽しいスキーライフ」のために、日頃からの
ご注意と正しいメンテナンスをお願いしています。



ご使用上の注意

- ご使用の前には、ブーツ本体・バックル等に異常がないか点検してください。
- 高温の場所に置くと変形したり、素材の劣化を早める場合があります。乾かす際には、ストーブやスチーム等の高温場所に近付けないでください。

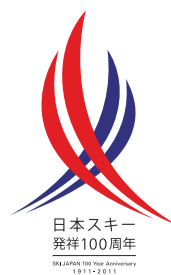
メンテナンスの方法

- 汚れは水に浸した布や柔らかいスポンジで拭き取ってください。
- 汚れ落としに、ベンジンやシンナー等の溶剤を使用しないでください。
- シェルとインナーブーツはそれぞれ直射日光を避けて、風通しのよい場所で十分に乾燥させてください。
- 日の当たらない場所に保管してください。この場合、ビニール袋などでブーツを密封しないでください。



スキー、ビンディング、スキーブーツの
取り扱いに関するお願い。

- ご使用の前後にそれぞれのシステムをよく点検し、異常を見つけた場合は使用を中止し、販売店などにご相談ください。
- 取扱説明書をよくご覧の上、ご使用上の注意やメンテナンスの方法をお守りください。
- ご不明な点は、販売店やメーカーにお尋ねください。



私たちは、安全で楽しいスキーライフを応援しています。
日本スキー産業振興協会(JSP)
(社)日本スポーツ用品工業協会

